

## プログラム

### 1日 班別研究結果発表

#### 13:00 プロジェクトリーダー挨拶

#### 13:20~15:20 ランビル班 (p. 4~)

13:20-13:45 ランビル公園周辺の土地利用変遷とその背景  
市川昌広

13:45-13:55 ラジャン川上流域シハン人の植物利用  
加藤裕美

13:55-14:05 沈香木の生息地と個体分布状況  
金沢謙太郎

14:05-14:20 サラワク東部の焼畑民イバンによる植物利用および認識の植生間比較  
百瀬邦泰・加賀道・小泉都

14:20-14:30 サラワク東部における土地利用の履歴と植物の多様性および繁殖共生の特性  
百瀬邦泰・粟沢一樹・加賀道・小泉都・岸本圭子・松本崇・市岡孝朗・田中洋・中川弥智子・  
吉村充則・市川昌広・中静透・Lucy Chong

14:30-15:00 ボルネオ低地熱帯林における森林伐採がもたらす蝶類群集の多様性喪失効果  
市岡孝朗

15:00-15:20 総合討論

#### 休憩

#### 15:30~17:30 阿武隈班 (p. 24~)

15:30-15:45 阿武隈班概要  
新山 馨

15:45-16:00 関本町小川集落(旧山小川村)における森林利用—国有林との関係—  
宮本麻子・佐野真琴

16:00-16:15 伐採からの時間経過による森林植物群集の変化—阿武隈山系での広葉樹林とスギ林の比較—  
田中浩・新山馨・柴田銃江・八木橋勉・五十嵐哲也・長池卓男

16:15-16:30 森林の分断化・人為攪乱が樹木の送粉に与える影響—イタヤカエデの訪花昆虫調査—  
柴田みつえ・末吉昌宏・丑丸敦史 他

16:30-16:45 森林変遷と昆虫の多様性  
牧野俊一

16:45-17:00 落葉広葉樹林の林齢と鳥類の種多様性  
東條一史

17:00-17:15 日本の鳥類群集の変遷  
安田雅俊・川路則友・福井晶子・金井裕

17:15-17:30 樹木個体群の遺伝的多様性  
井鷲裕司

17:30~18:30 経済・モデル班 (p. 37~)

17:30-18:00 土地利用ダイナミックスの確率モデル：個人と組織の意思決定が一致するのはどういうときか？  
佐竹暁子

18:00-18:20 多様性関数について  
赤尾健一

18:20-18:30 質疑応答

2日 班別研究結果発表

08:30~10:30 屋久島班 (p. 40~)

08:30-09:00 GIS 班

大正、昭和、平成各時期の地形図に基づく屋久島全体の土地利用の変遷  
D. スプレイグ

屋久島小島地区の土地利用と猿害発生予測  
森野真理

09:00-09:20 植物班

屋久島の森林利用の歴史と森林タイプ  
相場慎一郎

屋久島におけるシダ植物メシダ属 *Athyrium* の遺伝的多様性  
高宮正之

09:20-10:00 動植班

鳥獣による農業被害と自然林の果実生産量の相関  
野間直彦

**Bat presence and activity in natural forest and conifer plantations in the warm temperate zone of Yakushima, Japan**

D. Hill

森林伐採がニホンザルの集団密度と食物利用可能性に与える影響  
半谷吾郎

10:00-10:30 人文班

本年度佐藤チーム各研究の配置 (安部)

土面川土石流裁判と北スマトラ・ブキット・ラワン土石流事件における言説の類似点  
安部竜一郎

森林とのかかわりにおけるインセンティブ  
浅尾真利子 (欠席のため安部代理)

屋久島の森林ブーニングをめぐる背景  
平野悠一郎

離島と学問：資源系の解明

王 智弘

休憩

10:40~12:40 キナバル班 (p. 66~)

- 10:40-11:00 湿潤熱帯の低地—山地景観における森林利用の変遷とその要因: キナバル山と Deramakot 商業保護林地域の土地利用変遷  
北山兼弘 (京大・生態研)  
生産林における生物多様性と炭素貯留の両立—バイオマス炭素広域把握を強調して—  
北山兼弘・中園悦子・清野達之 (京大・生態研)
- 11:00-11:15 熱帯の低地—山地間での森林利用による植生変化の比較  
武生雅明・清野達之・相場慎一郎・北山兼弘
- 11:15-11:30 熱帯林の材特性の多様性とその利用  
清野達之・北山兼弘 (京大・生態研)
- 11:30-11:45 ダルマコット森林保護区 (マレーシア、サバ州) における森林管理が土壌動物群集に与える影響 (中間報告)  
長谷川元洋・伊藤雅道
- 11:45-12:00 ダルマコット森林保護区における森林利用の評価—飛翔性昆虫群集への影響  
阿久津 公祐・戸田 正憲
- 12:00-12:20 デラマコット森林保護区における哺乳動物の環境利用  
松林尚志
- 12:20-12:30 利用形態の異なる森林生態系の経済評価  
長谷川 弘
- 12:30-12:40 質疑応答

昼食

13:30~18:00 ワーキンググループ別会議 (p. 90~)

3日 プロジェクト運営

08:30-09:30 ワーキンググループの報告

09:30-10:30 全体のビジネスミーティング

休憩

10:40-12:00 コアメンバーによるビジネスミーティング

2002-2004年度 プロジェクト業績集 (p. 92~)